

福岡みらいづくり2010～マニフェスト型公開討論会～ ローカル・マニフェスト（共通様式）

氏名 高島宗一郎

印

作成日 2010年10月15日

現状認識（4年間の福岡市政の振り返り）

福岡市は、バブル崩壊後も日本一元気で住みやすい都市で、コンパクトシティとして、世界でも住みやすい「まち」と、高い評価を受けていました。しかし、いつの間にか、財政至上主義による閉塞感から、経済・雇用などのあらゆる面で停滞がおきています。今の福岡には、将来ビジョンが見えず、現状を打破し、何かにチャレンジする意欲も減退し、不安を抱えています。このことは、今の福岡市政がバランスを崩し、財政再建に目を取られすぎて経済や福祉に有効な施策が打ち出せなかったことが原因だと思っています。

ビジョン：将来像及び目標

福岡市は全治10年と私は見えています。今、福岡市に必要なことは、借金を減らすことではありません。また、急に反対の施策ばかりでもいけません。つまり、「財政再建」として、1000億円の借金の返済にがんばることも、反対に、「公共事業」に傾注することでもありません。今、必要なのは、事業と借金のバランスです。私は「財政再建」とのバランスを取りながら、地場経済の刺激、そして市民生活のあんしん・安全を確保するための、選択と集中による投資を目指します。もう一つ大事なことは、福岡市の状況が、全く市民には伝わらずわからないことばかりです。私は、徹底した情報発信で市民に、今の福岡市の現状をお知らせして、一緒に改善したいと思います。元氣な福岡をとりもどし、住みたい「まち」日本一に向かって挑戦します。

すぐに行う重要施策（優先順位が高い順に3つ記入ください）

<徹底的な官民の役割分担の見直し>

今まで、真剣に官民との役割分担を考えたことはなかったと思います。例えば、地下鉄はなぜ民営化できないのでしょうか。JRなどでは、民営化により再生を果たしています。今、抜本的な見直しによる行財政改革を行わなければ、市役所の制度疲労は解決できません。地下鉄の民営化により、
①都心の渋滞解消が図れます。天神・博多駅などの都心までの地下鉄とバスの競争は無くなります。
②「料金の値下げ」の可能性があります。つまり、民間の効率化により人件費・減価償却など削減ができ、また、早期の借金返済が期待できます。
③交通局職員約500人の削減が期待できます。（約40億円の削減効果）
④地下鉄と貝塚線の相互乗り入れもスムーズに解決します。延伸も上下分離方式の導入で実現がしやすくなります。

<情報発信>

情報公開はかなり進んでいますが、市民は満足しているのでしょうか。私はキャスターとしての自らの経験から、今市役所で何が起きているのかを市民目線で伝えていきます。例えば、難解な公文書は公開されても良く理解できないところがあります。また、子ども病院の移転に際しても経緯について、専門家の意見も聞かず、無理のある検証報告には大きな疑問を持っていますし、水増し問題など不透明な経緯は、子ども病院・アイランドシティの評価を低めただけでなく、市政運営全体に対する不信につながった責任はたいへん重く、市民への説明責任など信頼回復を図る必要があると考えています。

<先行した福祉・教育サービスへの投資>（将来は、成長による税収入増でのサービスの充実）

- ・小学校給食費の無料化…バラマキの「子ども手当」をみんな公平な「給食費の無料化」に充てます。（子ども手当の本市負担分27億円を充当出来れば、小学校給食費23億円無料化予算は捻出化）
- ・日本一高い国民健康保険料の引き上げ…まずは、1人あたり保険料を全国平均並みまで引き下げます。（現在市民の税金を毎年167億円も投入しており、必要な予算10億円を捻出するルール作りが必要）
- ・保育所や特養ホームの整備計画を前倒します。（未入所児童1000人や入所待ち高齢者7500人の解消）

4年間でやる重要施策（優先順位高い順に3つ）

<観光を起爆剤とした・地場経済の復活とアジアへの挑戦>

- ・クルーズ船の専用ターミナル整備など港湾施設の整備を行います。
- ・地元の食文化・食材を観光に活用します。（屋台・特産物・朝市などの支援）
- ・アジアを中心とした国内外の観光客の誘致のための環境整備を行います。（Wi-Fi環境整備）
- ・観光客受け入れ施設の整備を行います（人・物・交流拠点の整備、そして海・山・川が美しい水と緑のまち）

<地域が自由に使えるような補助金>

- ・自治協議会へのひも付き補助金である必須事業を見直します。全体的に見ると減った地域への助成を元に戻します。
- ・老人クラブへのひも付き補助金を見直して充実します。

<雇用の確保と地場産業の育成>

- ・若者の雇用の確保…全国でも大学生・専門学生が多く、引き続き福岡へ就職できる仕組みづくりを検討します。例えば、産官学連携によるIT・ゲーム・ファッション産業の創出を検討します。
- ・農業・漁業などの活性化として、水と緑のまちづくりをめざします。
- ・博多湾をクリーンで豊かな海への再生力の発揮に努めます（底質改善・魚場保全の森づくり）

■個別テーマ■

1. 行財政改革について具体策を優先順に3つ挙げてください。

施策	地下鉄民営化の検討	期限	4年	数値目標	40億円/年・職員500人削減
内容/手段	地下鉄の民営化でのネックは、初期投資です。そのため、国等でも検討されている、上下分離方式を採用します。現在の借金3300億円については、民間への移譲はできませんが、民間の効率化により、借金の返済も早くできると思います。上下分離方式は運営の委託や事業免許の移譲など色々な方法がありますので、国等との協議を速やかに行うことにします。				
施策	市役所の改革	期限	2年	数値目標	市役所滞在時間を半分に短縮
内容/手段	市役所でのたらい回しなどを良く目にします。例えば、赤ちゃんが生まれた時の出生届や健康保険などの手続きが、1つのサービスとして行えるようなワンストップサービスを実施します。また、国等でも検討されているシステムを利用して、多様な行政サービスの提供として、住民票などをコンビニ等でも発行できるようにします。				
施策	外郭団体の見直し	期限	4年	数値目標	外郭団体数を減らす
内容/手段	官民の役割分担の見直しでは、民でありながら官の体質と言われる外郭団体について、抜本的な役割分担の見直しの考え方で、外郭団体の見直しを行います。例えば、健康づくり財団などは、特定健診などの事業を普及させる役割があると思いますが、利用者数など全く伸びていません。大事な役割があるのに「できない」のか「しないのか」などを検証して行きます。				

2. 地域経済活性化について具体策を優先順に3つ挙げてください。

施策	観光による地場経済の活性化	期限	1~4年	事業費	未定	財源	予算の組み替え
内容/手段	<ul style="list-style-type: none"> クルーズ船の専用ターミナル整備など港湾施設の整備を行います。 観光を柱としたふくおかの再生を行います。地元の食文化・食材を観光に活用します。(屋台・特産物・朝市などの支援) アジアを中心とした国内外の観光客の誘致のための環境整備を行います。(WI-FI環境整備) 観光客受け入れ施設の整備を行います。(人・物・交流拠点の整備、そして海・山・川が美しい水と緑のまち) 						
施策	中小企業に対する支援の充実	期限	1~4年	事業費	未定	財源	予算の組み替え
内容/手段	地場中小企業に対する緊急貸付枠(限度額1250万円10年で返還)や利率(年0.9%)を見直しを検討します。また、審査基準についても改善します。総合評価制度を活用した契約発注等での優先した地場企業への支援(下請工事代金の早期支払い、地場枠の拡大)に努めます。						
施策	若者の雇用・新産業の創出	期限	4年	事業費	未定	財源	予算の組み替え
内容/手段	全国でも大学生・専門学生が多く、引き続き福岡へ就職できる仕組みづくりを検討します。例えば、産官学連携によるIT・ゲーム・ファッション産業の創出を検討します。						

3. 上記以外の重要施策を具体的に3つ挙げてください。

施策	子宮頸がんワクチンの助成	期限	1年	事業費	3億円	財源	予算の組み替え
内容/手段	ヒトパピローマウイルス(HPV)感染の予防ワクチンがH21に承認・販売されたことから、国等でも助成の方向だが、国が実施を見合わせたとしても福岡市単独でも実施したい。 予算3億円(中1女子6300人×3回×5万円=9億円の1/3、国も1/3補助) ・10代はワクチン接種、20代はがん検診で予防していきたい。						
施策	新病院の整備	期限	4年	事業費	未定	財源	起債など
内容/手段	〈こども病院に「妊産婦も助かる」高度・先進機能を付加〉 ・新病院は、最先端の設備、拡張性・建て替え、家族の宿泊先、子どもの療養環境などを考え、アイランドシティに整備します。 ・子ども療養環境の整備と照業のまちの価値を高めるために、文化施設を誘致します。 ・PFIについては、民間活力の一環であり、競争性が発揮できない場合は見直します。 ・先送りされた市民病院は、公的病院の役割を重視します。						
施策	安全な水道の提供	期限	10年	事業費	未定	財源	予算の組み替え前倒し
内容/手段	水道の鉛管問題について、現在の予定である平成36年までの改善計画をできるだけ早め、10年程度の完了に努めます。						